

第105回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和4年1月11日(火) 9:45~10:15	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、宮奈地域安全課長、穂山地域安全係長			
付議事項	1 小金井市新型コロナワクチン接種実施計画の改定について 2 新型コロナウイルス感染症への対応について 3 各部連絡事項			
資料	小金井市接種実施計画(R4.1.11版)案 第67回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料【抄】			
(進行：福祉保健部長) (市長) ・オミクロン株の感染拡大により社会生活に多大な影響が及ぼされている。基本的な感染症対策を継続し、市としては引き続きワクチン接種の推進に努めなければならない。都内においてもコロナ感染の7割がオミクロン株に置き換わっているという報道があり、今後も様々な事態を想定しなければならない。 ・先週金曜日に医師会等関係機関とワクチン連絡会を行い、19日から行われるワクチン接種等に関し協議したところである。 1 小金井市新型コロナワクチン接種実施計画の改定について (新型コロナウイルス感染症対策担当課長) ・資料にお示しのとおり、実施計画に関して改定を行った。主な改定箇所は、3回目の追加接種及びスケジュールの追加及び実績を踏まえた接種者数など各種数値の更新である。理事者承認後、市ホームページでの広報及び市議会議員への資料配布を行う。 ・3回目のワクチン接種であるが、一部高齢者への接種を開始している。1月19日に本格的に開始するところであり、国の方針に基づき、2回目との接種期間についても7か月に前倒して、対象者にご案内を送付する予定である。 2 新型コロナウイルス感染症への対応について (健康課長) オミクロン株の感染者が市内でも発生し、23区での発生に係る支援物資の供給が急増していることもあり。自宅療養者の支援物資が足りなくなる状況も想定される。現金での物資購入なども視野に入れ対応していきたい。				

(市長)

第6波を想定し、買い物代行等支援についても協議してきたところである。自宅療養者の支援については、速やかに対応いただきたい。

(健康課長)

・オミクロン株の感染拡大を受け、17日に保健所と臨時に会議を行う。保健所から健康観察に係る依頼がなされると思われる。

(市長)

・全員協議会が2月に開催される予定。各部適宜対応願いたい。
・新春市民のつどいは、感染拡大状況を受け中止とした。オンラインにて市議会議長とともに新年挨拶を行う。

(生涯学習部長)

・都の緊急対応方針を受けての市施設の取り扱いは、利用制限を既にかけているため特段の変更はない。

(総務部長)

・職員対応に関しては引き続き、感染予防の徹底をお願いする。この3連休に係る職員の感染報告は今のところ届いていない。今後の感染状況次第で、陽性者10日待機、濃厚接触者の自宅待機14日により、職場の人員体制が厳しくなることが想定される。内部応援、執務室の切り分け、出勤抑制を含むBCP、テレワークを活用し、全庁一丸となってこの状況を切り抜ける必要がある。

3 各部連絡事項

(企画政策課長)

・都より地方創生臨時交付金の実施計画についての照会が来ており、本日締切となっている。5つの事業に関し提出いただいているところであるが、2億6千万の枠に対し1億程度の申請にとどまっているため、何かありましたらご相談いただきたい。

(子ども家庭部長)

・子育て世帯への臨時特例給付金について、家族の別居の関係で給付が受けられない事例があったことをお伝えしておきたい

(以上)